

第72期

中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第72期中間期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業概況につき、中間報告書を作成いたしましたので、次のとおりご報告申し上げます。

なにとぞ株主の皆様のご支援をお願い申し上げます。

平成22年11月

取締役社長 **牧野二郎**

当中間期の経営成績

不安定な状態にある世界経済の中で、生産財の設備投資は緩やかながら、堅調に拡大を続けています。国内の状況も最悪期を脱し徐々に回復していますが、直近の円高の影響により顧客の意思決定がやや慎重になっております。（社）日本工作機械工業会の2010年4-9月受注累計額は、外需が牽引して前年同期比2.58倍の5,071億円となりました。暦年の見通し額である8,500億円（7月に上方修正）へ確実に到達できると発表しています。当社連結受注は前年同期比2.19倍の442億円、単体は前年同期比2.58倍の237億円となりました。しかし、最盛期の水準には依然として遠い状況です。

地域別の状況としては以下のとおりです。

アメリカ

当第2四半期（7-9月期）に入り回復が極めて顕著でした。子会社マキノインクの当上期（4-9月期）受注は前年同期比3.45倍の128 mil. US\$になりました。自動車販売の回復が予想より早く進行したことに合わせて、全産業にわたる設備近代化の必要性にともなう投資の動きが、工作機械需要の進展の牽引力となっています。

ヨーロッパ

自動車を中心に各国主要産業の投資が回復しています。しかし、円高/ユーロ安が定着し、欧州工作機械メーカーとの競争が極めて厳しい状況になっています。

アジア

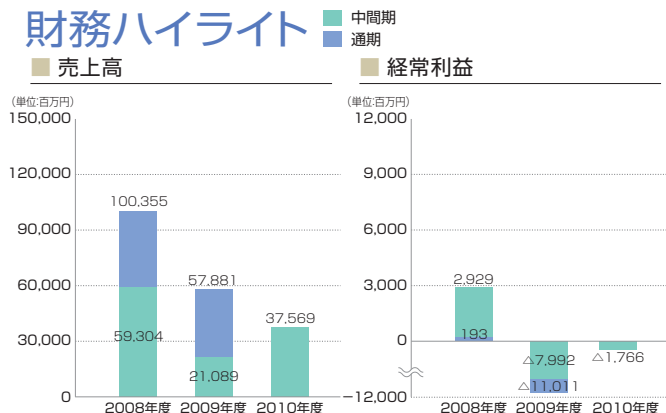
中国では内需向け産業・輸出産業のいずれも前年度後半に続き、活発な設備投資が行われてきました。また、工作機械の仕向け先も中国の全域に拡大しつつあります。

東南アジア各国でも、おしなべて安定した設備需要が続いています。

目次

株主の皆様へ	1
連結財務諸表	3
主な海外拠点及び地域別売上高推移	5
トピックス、会社の概要	7
当社製品及び機種別売上高推移	9
株式の状況、株主メモ	10

財務ハイライト



インドは自動車を中心に建機・農機など幅広い産業から受注が増加しています。旺盛な需要の一方で、欧州と同様にユーロ安の影響を強く受けています。

日本

国内の設備投資は依然として低い水準であり、最盛期にはほど遠い状況です。円高に起因する製品メーカーの海外調達や海外移転などの動向を懸念して、顧客の設備意欲が鈍ったことが最大の理由と考えます。その中において、一部の企業には競争力強化に向けた設備投資の動きが出ています。それぞれの分野において水面下で進行している技術革新に対応するものと考えます。

以上の結果、当中間期における連結売上高は375億69百万円（対前年同期比78.1%増）、連結営業損失9億34百万円（前年同期は77億26百万円の連結営業損失）、連結経常損失17億66百万円（前年同期は79億92百万円の連結経常損失）、連結四半期純損失16億61百万円（前年同期は75億64百万円の連結四半期純損失）となりました。

中間配当につきましては、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

主要業種に対する今後の展開としては以下のとおりです。

金型市場

回復が遅れている国内金型産業向けの市場開拓・技術開発を改めて進めます。自社技術の差別化により今後の企業展開を図る金型メーカーの動向に充分対応してまいります。

10月末に開催された第25回日本国際工作機械見本市（JIMTOF）では、ベストセラー機種である「立形マシニングセンタVシリーズ」を中心に先駆的な製品を展示しました。例えばサブミクロンの加工を実現する「微細精密加工機

iQ300」、重量ワークの高速5軸加工「5軸マシニングセンタD500」、深さ精度±1μmの「精密NC放電加工機 EDAC1」など高精度なハイエンド機での差別化を提案しました。

量産部品市場

自動車用のエンジンブロックおよびヘッド加工に特化した「横形マシニングセンタBH50」を販売開始します。排気量2000ccクラスまでのほとんどのエンジンに対応できます。クランクボアのラインボーリング加工やバルブシートの仕上げ加工など、一般的なマシニングセンタでは不向きとされる工程を安定して加工できるようにしました。従来は専用機ラインで生産しており、汎用マシニングセンタをコアマシンとすることで初期投資を大幅に軽減できます。

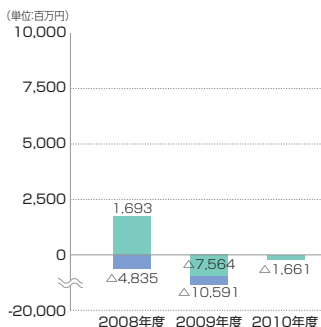
子会社のマキノジェイは、中・大量生産の小物部品加工に特化した立形マシニングセンタを販売開始します。主軸と工作物を積載するテーブルを各3種類準備。組合せにより最適な仕様を構築して、あらゆる小物部品に対応します。例えばエアコンのスクロール・自動車のABSバルブボディやインペラ・通信機器の電子部品などが加工対象物となります。

航空機市場

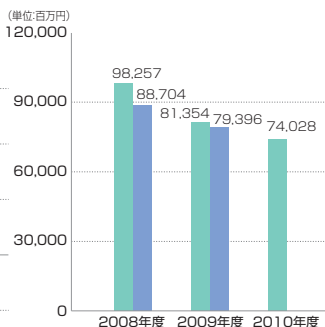
遅れていた新型航空機の量産が軌道に乗りつつあります。機体構成部品（アルミ合金・チタン合金）やエンジン部品（インコネルなどの耐熱合金）では、大物から小物まで幅広い部品に対応できるラインアップを整えました。

「チタン加工用マシニングセンタMAG/Tシリーズ」では、X軸移動量4200mmのMAG/T4に加え、新たに2000mmのMAG/T2を完成。ランディングギアやバルクヘッドなど加工対象部品も多く、今後の受注を期待しています。

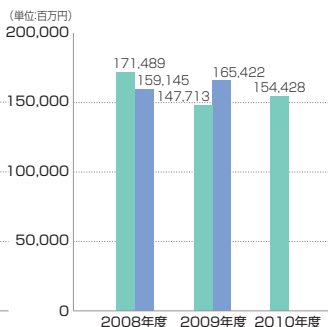
■ 中間(当期)純利益



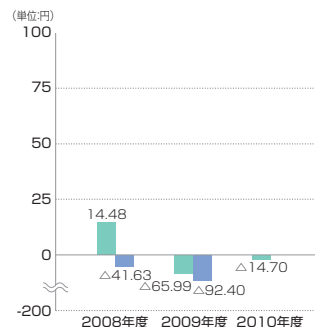
■ 純資産



■ 総資産



■ 1株当たり中間(当期)純利益



□ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間末 平成22年9月30日	前連結会計年度末 平成22年3月31日
(資産の部)		
流動資産	100,138	109,523
現金及び預金	39,464	51,022
受取手形及び売掛金	22,029	24,153
有価証券	2,019	2,019
商品及び製品	9,518	9,591
仕掛品	10,147	7,331
原材料及び貯蔵品	13,802	12,733
繰延税金資産	715	791
その他の流動資産	3,224	2,682
貸倒引当金	△ 783	△ 800
固定資産	54,289	55,898
有形固定資産	37,593	38,690
建物及び構築物	20,849	21,333
機械装置及び運搬具	2,853	3,114
工具、器具及び備品	2,011	1,917
土地	9,750	9,856
リース資産	1,980	2,007
建設仮勘定	148	461
無形固定資産	875	825
その他の無形固定資産	875	825
投資その他の資産	15,819	16,382
投資有価証券	10,129	10,383
長期貸付金	671	671
繰延税金資産	907	990
その他の投資	4,652	4,903
貸倒引当金	△ 541	△ 566
資産合計	154,428	165,422

科 目	当中間連結会計期間末 平成22年9月30日	前連結会計年度末 平成22年3月31日
(負債の部)		
流動負債	34,394	42,471
支払手形及び買掛金	17,593	14,278
短期借入金	4,209	5,186
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	2,186	4,677
リース債務	628	624
未払法人税等	565	581
その他の流動負債	9,211	7,122
固定負債	46,004	43,554
社債	20,000	20,000
長期借入金	17,953	15,146
リース債務	2,144	2,207
繰延税金負債	3,422	3,477
退職給付引当金	590	827
役員退職慰労引当金	287	279
負ののれん	79	71
その他の固定負債	1,526	1,544
負債合計	80,399	86,026
(純資産の部)		
株主資本	77,262	80,924
資本金	19,263	19,263
資本剰余金	32,595	32,595
利益剰余金	30,171	31,832
自己株式	△ 4,767	△ 2,767
評価・換算差額等	△ 3,808	△ 2,116
その他有価証券評価差額金	3,324	3,563
為替換算調整勘定	△ 7,132	△ 5,680
少数株主持分	574	588
純資産合計	74,028	79,396
負債純資産合計	154,428	165,422

□ 中間連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

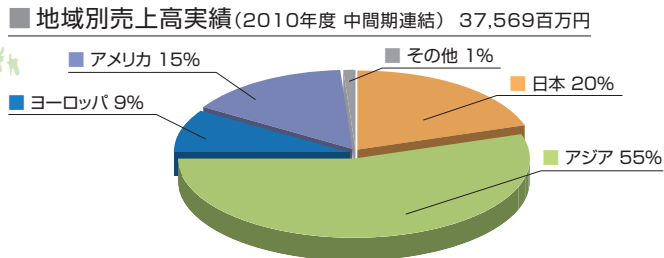
科 目	当中間連結会計期間 自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日	前中間連結会計期間 自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日
売 上 高	37,569	21,089
売 上 原 価	28,483	19,861
売 上 総 利 益	9,085	1,228
販売費及び一般管理費	10,020	8,954
営 業 損 失	934	7,726
営 業 外 収 益	407	649
受取利息及び配当金	132	115
助 成 金 収 入	13	207
そ の 他 の 収 益	260	326
営 業 外 費 用	1,238	915
支 払 利 息	510	435
為 替 差 損	599	414
そ の 他 の 費 用	128	65
経 常 損 失	1,766	7,992
特 別 利 益	72	28
固 定 資 産 売 却 益	34	28
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	38	—
特 別 損 失	13	—
固 定 資 産 除 却 損	13	—
税金等調整前中間純損失	1,707	7,964
法 人 税 等	△ 50	△ 348
少数株主損益調整前中間純損失	1,656	—
少数株主利益又は損失(△)	4	△ 50
中 間 純 損 失	1,661	7,564

□ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間 自 平成22年4月 1日 至 平成22年9月30日	前中間連結会計期間 自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,179	3,309
投資活動による キャッシュ・フロー	7,707	△ 1,147
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 12,340	1,985
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 704	61
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 3,157	4,209
現金及び現金同等物の 期首残高	42,790	39,978
現金及び現金同等物の 中間期末残高	39,632	44,188

主な海外拠点及び地域別売上高推移



MAKINO INC. (アメリカ・メイソン)

テクニカルセンタ

販売、サービス、機械展示、アプリケーションサポートの各機能を持つ拠点です。

ヨーロッパにはドイツ、フランス、イタリア、スロバキア、北米にはアメリカ、カナダ、中米にはメキシコにあります。

営業所

販売、サービスの機能を持つ拠点です。

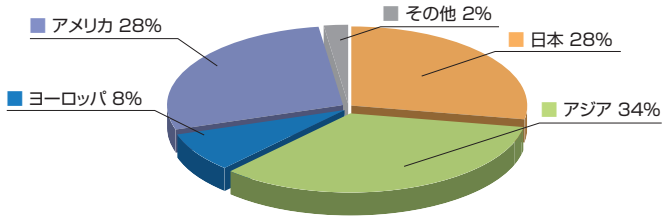


MAKINO Europe GmbH (ドイツ・ハンブルク)

●ヨーロッパ

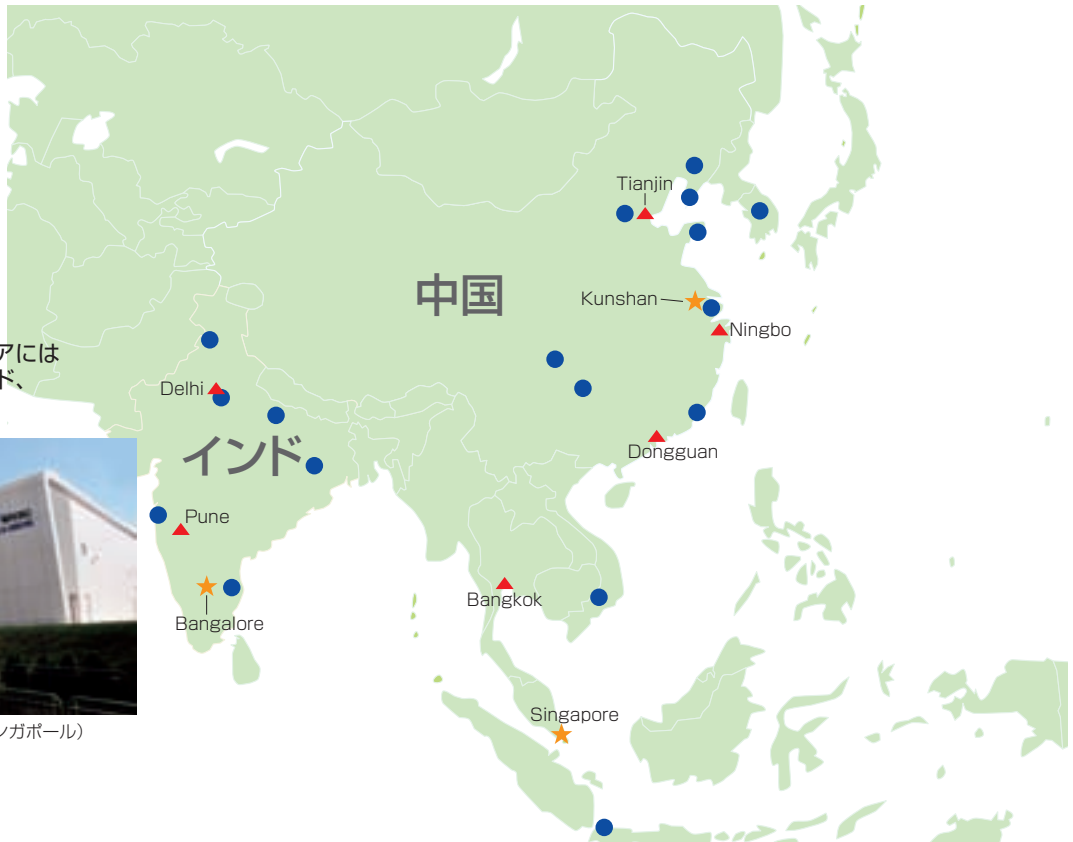


■ 地域別売上高実績(2009年度 中間期連結) 21,089百万円



- ★ 工場／テクニカルセンタ
- ▲ テクニカルセンタ
- 営業、サービス拠点

● アジア



テクニカルセンタは、アジアにはシンガポール、中国、インド、タイにあります。



International R&D センタ (シンガポール)

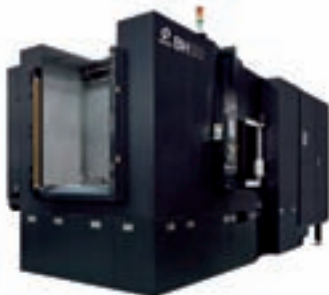
■国際製造技術展IMTS（アメリカ）に出展



9月に開催された工作機械の三大見本市の一つであるIMTSに出展いたしました。

アメリカの景気が回復している中で、予想以上の設備投資意欲が感じられ、自動車・航空機市場向けのマシニングセンタを中心に多くの機種を出品して、活発な商談が行われました。

■横形マシニングセンタBH50を開発



エンジン部品の加工に特化した横形マシニングセンタBH50を開発しました。

高トルクの主軸と高い機械剛性により、専用機での加工が一般的な自動車エンジンのブロックおよびヘッドの高精度・高能率加工が可能になります。

2000ccクラス以下のほとんどのエンジンに対応でき、高い生産性を発揮します。

■機械工業デザイン賞の受賞



当社の超硬加工用ワイヤ放電加工機UPV-3およびUPV-5が、日刊工業新聞の機械工業デザイン賞（日本工作機械工業会賞）を受賞いたしました。

LEDやハイブリッド車のモーターコアなど、精度要求の厳しい精密プレス用超硬金型で表面粗さ0.2マイクロメートル以下を実現します。

自己株式の取得について

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式の取得を実施いたしました。

取得結果

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	3,358,000株
株式の取得価額の総額	1,999百万円（百万円未満は切り捨て）
取得期間	平成22年6月8日～7月6日

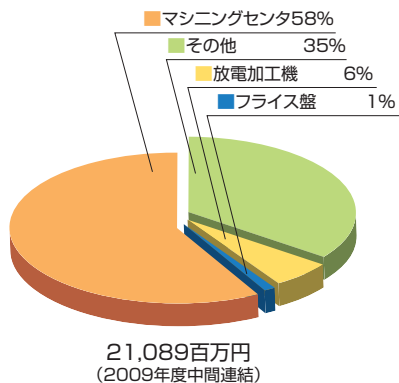
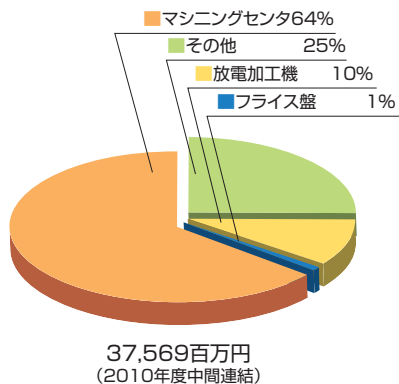
会社の概要 (2010年9月30日現在)

- **社名** 株式会社 牧野フライス製作所
- **英文社名** Makino Milling Machine Co., Ltd.
- **所在地** 〒152-8578 東京都目黒区中根 2丁目3番19号 電話 03(3717)1151(代表)
- **創業** 1937年5月
- **資本金** 19,263百万円
- **従業員** 1,367名(単体) 3,815名(連結)
- **ホームページアドレス** <http://www.makino.co.jp/>
- **主要な事業内容** 工作機械（マシニングセンタ、NC放電加工機、NCフライス盤、フライス盤、FMS、CAD/CAM等）の製造・販売及び修理
- **取締役及び監査役**

※ 取締役社長	牧野 二郎	取締役	鈴木 信吾
※ 専務取締役	牧野 駿	取締役	田村 泰幸
※ 常務取締役	細島 英一	取締役	永野 敏之
取締役	箕沢 武夫	常勤監査役	福井 英次
取締役	香村 章夫	監査役	鈴木 宏一
取締役	饗場 達明	監査役	尾澤 弘久

※印は代表取締役です。

機種別売上高推移



マシニングセンタ

マシニングセンタは工作機械の1つで、工具を自動で選択・交換ができ、穴あけや面削り等複数の加工を1台でこなします。工具を取り付け回転させる主轴が垂直位置の立形マシニングセンタと水平位置の横形マシニングセンタがあります。



当社の立形マシニングセンタは主に金型の加工に使われています。

当社の横形マシニングセンタは自動車、航空機、建設機械、エネルギー関連及び半導体製造装置などの産業で使用する部品の加工に幅広く使われています。

放電加工機

放電加工機は電気による放電エネルギーを利用して加工を行う機械です。形彫放電加工機とワイヤ放電加工機があります。



ワイヤ放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品、半導体などの精密プレス金型の加工や医療機器などの精密部品加工に使われています。

形彫放電加工機は主に自動車、IT製品、電気製品などのプラスチック金型やダイカスト金型の加工に使われています。

フライス盤

工具を回転させ平面、曲面、溝などを手動で加工する機械です。



株式の状況、株主メモ

株式の状況 (2010年9月30日現在)

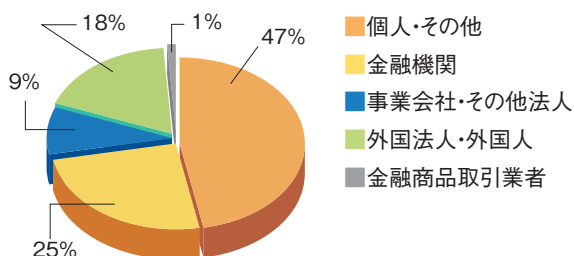
- 発行済株式総数 119,944,543株
(自己株式8,675,433株を含む)
- 株主数 13,652名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,672	6.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,340	5.70
財団法人工作機械技術振興財団	4,469	4.02
牧野二郎	2,452	2.20
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,180	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,178	1.96
日本興亜損害保険株式会社	2,135	1.92
牧野駿	1,977	1.78
日本生命保険相互会社	1,760	1.58
牧野南津雄	1,752	1.57

(千株未満切り捨て)

- (注) 1. 当社は、自己株式8,675千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

●所有者別株式分布



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.makino.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式の買取請求（当社へのご売却）のご案内

当社の単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、この単元未満株式を当社に対し売却すること（買取請求）が可能となっております。

単元未満株式の買取りを希望される株主様は、次の口座管理機関にお申出ください。

- ・ 株主様が証券会社等に口座を開設し、株式をお預けになっている場合は、その口座開設先にお申出ください。
- ・ このほか、特別口座が開設されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください（連絡先は株主メモの項目をご参照ください）。

株式会社 牧野フライス製作所

本社 〒152-8578 東京都目黒区中根2-3-19

電話 03 (3717) 1151(代)

ホームページ <http://www.makino.co.jp/>

